



「ありがとう！25周年」

日本骨髄バンクの現状（平成 28 年 11 月末現在）

	10 月	11 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,464	2,851	468,433	686,417
患者登録者数	237	263	3,471	49,642
移植例数	103	103	—	20,156

■11月の年代別ドナー登録者数（現在数）

10代	3,385人
20代	70,541人
30代	140,634人
40代	200,208人
50代	53,665人

■11月の20歳未満の登録者 277人

■11月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム/743人、献血併行型集団登録会/1,983人、集団登録会/86人、その他/39人

■11月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：245件

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 民進党本部でドナー登録会開催、ドナー休暇制度も導入

11月28日(月)に民進党本部で献血&ドナー登録会が開催されました。毎年4月に衆議院中庭でドナー登録会を開催しており、多くの国会議員、国会職員の方に登録いただいておりますが、政党本部での登録会は今回が初めてです。民進党所属の国会議員、議員秘書、党職員など31名の方々にドナー登録いただきました。本年11月、民進党の名古屋市議会議員・日比健太郎議員が血液疾患で亡くなられ、民進党では日比議員が生前に残された骨髄バンクに関するメッセージに応える「骨髄バンク推進プラン」をスタートしました。今回のドナー登録会もその一環として開催され、11月15日には民進党職員を対象にしたドナー休暇制度も導入されました。

2 骨髄バンクチャリティーゴルフ大会開催

■ぐるなび骨髄バンクチャリティーゴルフ大会

11月28日(月)に「ぐるなび骨髄バンクチャリティーゴルフ大会」が戸塚カントリー倶楽部(神奈川県横浜市)で開催されました。今年で11回目を数え、女子プロゴルファー28名の他、レストラン・広告業界関係者等を含む計94名が参加しました。(株)ぐるなびや協賛社からの寄付金のほか、女子プロの賞金の一部、オークションの収益金等が大会会長の滝久雄様より当法人へ寄付として贈呈されました。滝会長からは「骨髄バンクのドナー登録は46万人に到達しているが、若年者の登録が伸び悩んでいる。参加された皆様も協力して欲しい」と呼びかけがありました。大会の様子はゴルフ専門チャンネル「ゴルフネットワーク」にて、12月23日、26日、29日、1月2日、8日に放送されます。詳細は下記URLをご参照ください。 <http://www.golfnetwork.co.jp>

■中溝裕子骨髄バンクチャリティーゴルフコンペ

12月5日(月)に「中溝裕子骨髄バンクチャリティーゴルフコンペ」が水海道ゴルフクラブ(茨城県)で開催されました。このゴルフコンペは、当法人の評議員でもあるプロゴルファーの中溝裕子さんが骨髄移植を受けた日を記念して毎年開催しており、今年で10回目を数えます。女子プロゴルファー18名の他、一般107名が参加しました。表彰式には多くの賞品が用意され、チャリティーオークションや募金活動などが行われました。また、中溝さんから骨髄バンクへの協力の呼びかけが行われました。



3 読売巨人軍による骨髄バンク支援活動

■ジャイアンツ・ファンフェスタ 2016

11 月 23 日（祝）に東京ドームでファン感謝イベント「ジャイアンツ・ファンフェスタ 2016」が開催され、読売巨人軍から日本骨髄バンクに寄付金が贈呈されました。

今年は、宮崎・那覇キャンプ、東京ドームの主催試合、福井・富山の地方球場等で計 6 回のドナー登録会を開催し、106 名の方がドナー登録しました。

■病院訪問 ～野球選手が闘病中の子供たちを応援～

12 月 2 日（金）に読売巨人軍の菅野智之選手、橋本到選手、辻東倫選手が東海大学医学部付属病院（神奈川県伊勢原市）を訪問し、院内学級のクリスマス会に参加しました。同病院への訪問は、巨人軍が実施している骨髄バンク支援活動の一環として今年で 11 回目となりました。

4 6 市町でドナー助成制度導入

骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度が、新たに 6 市町でスタートしました。導入している自治体は全国で 198 になります。本年 4 月から県として助成制度を推進している岐阜県では導入する自治体が増えており、下記の 5 市町が追加されました。助成内容は各自治体によって異なりますので、直接お問い合わせください（ホームページに問い合わせ一覧を掲載しています）。

■新たに導入した自治体

- 笠間市（茨城県）
- 各務原市、笠松町、下呂市、羽島市、本巣市（以上、岐阜県）

5 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	12月19日（月）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
医療委員会	公開・一部非公開	1月22日（日）13時～16時 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	1月24日（火）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
ドナー安全委員会	非公開	2月19日（日）12時半～15時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

6 日本造血細胞移植学会（JSHCT）の移植診療科認定の申請受付について【手続きのお願い】

JSHCTホームページでご案内のとおり、同学会が新たに策定した移植施設認定基準に基づく移植診療科認定の申請受付が開始されています。

各施設の移植診療科におかれては、平成30年4月以降に非血縁者間の造血幹細胞移植を実施するためには、遅くとも平成29年度中に本認定を受ける必要がありますので、お早目に手続きいただきますようお願いいたします（申請は平成29年12月末まで）。詳しくは学会ホームページをご覧ください。

http://www.jshct.com/organization/shisetsu_kijun.shtml

7 平成 29 年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞移植・採取施設の認定更新調査

平成 29 年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞移植診療科・採取施設の認定更新調査を例年通り 1 月より開始します。

<採取認定施設の医師の方へ>

全ての採取認定施設が対象となります。1 月上旬に書類を送りますので、期限内にご返送いただきますようお願いいたします。ご返送いただく書類は以下のとおりです。

- ① 平成 29 年度非血縁者間<骨髄>および<末梢血幹細胞>採取施設の認定更新調査票（病院情報）
- ② 各委員会《輸血療法委員会・感染症対策委員会・安全管理（医療安全・事故対策等）委員会》の議事録
- ③ 認定証の発行について（お伺い）
- ④ 『同種末梢血幹細胞採取症例報告（2015/1～2016/12）』

※ 末梢血幹細胞採取施設においては書類④へ採取症例詳細をご記入の上、併せてご返送ください。

◆提出期限：2月3日（金）

<移植認定診療科の連絡責任医師の方へ>

平成 29 年度非血縁者間 骨髄および末梢血幹細胞 移植診療科の認定更新調査においては、一般社団法人日本造血細胞移植データセンターの移植症例登録一元管理プログラム（TRUMP）に入力のある移植実績数ならびに入力率を例年どおり当法人で確認します。その結果、件数不足の場合は状況確認をさせていただきます。

なお、すでに日本造血細胞移植学会（JSHCT）の新たな移植診療科認定基準による認定を受けられた移植診療科は、JMDP の認定更新調査は行いません。

8 骨髄採取後、急性の腎臓機能障害を発症した事例について

このたび、骨髄採取後に急性の腎臓機能障害を発症した事例が報告されました。ドナーの方は尿量が低下し、腎機能の検査データが通常の3~4倍程度上昇しましたが、その後、改善して約1週間後に退院されました。これを受け当法人では、11月25日に採取責任医師へ緊急安全情報を発出するとともに、11月29日にプレスリリースを行いました。また、調査委員会を設置して原因について調査を行うことにしています。調査結果については改めて報告します。

本症例に関する詳細については、当法人ホームページ>新着情報をご覧ください。

また、本症例を「ドナーのためのハンドブック」に追加してコーディネーターがドナーへ説明することになりました。調整医師の先生方は別紙をご確認のうえご対応をお願いします。

9 抗凝固剤（ヘパリン）の最終濃度について【再確認】

当法人ドナー安全委員会は、平成23年10月14日付および平成26年11月18日付安全情報で、各認定施設に対して、「骨髄液の最終ヘパリン濃度を10単位/ml前後で用いることを推奨する」と通知しました。しかし、本年実施された一部施設の骨髄採取術において、ヘパリン濃度5単位/ml未満もしくは20単位/ml以上の例が散見されていることから、再度通知します。詳細は、別紙・安全情報「抗凝固剤（ヘパリン）最終濃度について（再確認）」をご参照ください。

10 フォローアップ関連帳票の変更について（通知）～骨髄液ヘパリン濃度の記載方法の変更～

当法人ドナー安全委員会は、骨髄液ヘパリン濃度の記載事項について検討した結果、別紙・採取報告書（速報）および骨髄採取完了報告書（ハーベストレポート）の記載事項を追加することになりました。別紙をご確認のうえご対応をお願いします。

11 平成29年度調整医師再委嘱手続きについて <調整医師の方へ>

調整医師委嘱手続きは、平成28年度から委嘱期間を1年とし、原則として自動更新となりましたが、一部の施設において院内規定等により、平成29年度も委嘱更新手続きが必要となります。

対象の調整医師の先生方へ委嘱更新に関する書類を来年1月中旬以降にお送りしますので、施設長の承諾書をすみやかにご返送くださいますようお願いいたします。

また、新たに調整医師として協力可能な先生をご紹介いただける場合は、ドナーコーディネーター部までご一報ください。申請書等は[当法人ホームページ>医師の方へ>調整医師・採取医師の方へ>調整医師の募集に関して]からダウンロードすることもできます。



12 インフルエンザ流行拡大に関する対応について <コーディネーターの方へ>

本年もドナーコーディネーター部にインフルエンザ相談窓口を設置しました。別紙「インフルエンザ流行拡大に関する対応について」をご確認のうえご対応をお願いします。

13 連絡事項

■年末年始の確認検査・再検査実施とSRL予約について <コーディネーターの方へ>

ドナーがすでにHLA(DNA)の情報を持っているか否かにより、対応が異なります。どちらに該当するかは地区事務局から申し送りますので、それに従って日程調整をお願いします。

<年末> ①確認検査（検査項目：一般血液検査とHLA ビーズ法）⇒ 12月26日（月）採血分まで

②確認検査（検査項目：一般血液検査のみ）・再検査 ⇒ 12月28日（水）採血分まで

<年始> ①確認検査、再検査 ⇒ 1月5日（木）採血分から

<SRL の予約> 1月5日・6日に採血希望の場合は、12月26日（月）14：00 まで